

自ら学ぶ教職員 活動報告書

グループ名 みんなの☆職員室

テーマ 学校の異なる教師チームによるオンライン実践教育研究

取組のポイント・成果

【当活動の目的】

- ◆令和3年度に行われた未来を創る学び共同研究会の参加者を母体として、オンライン(Microsoft Teams 上)で実践研究を行うこと。

【取り組み方法】

- ◆Teams 上で日々の実践について、報告しお互いコメントし合うことにより共有し、新たな教育実践を生み出すことで、それぞれの職場での教育実践に活かす。

成果

- ◆当グループの成果
 - ・未来をつくる学び (パターンランゲージ研修=アクティブ・ラーニング研究)
 - ・授業研究 (地理総合日記@多治見工業、多治見歴史パーティー、句会、現代の国語等)
 - ・ICT 研究 (ループリック評価ツール、MetaMoJi、PowerPlatform、AI ツール、プログラミング、オンライン授業、タブレット活用等)
 - ・その他 (カリキュラムマネジメント、フェルミ推定、バカロレア教育研究、「学びのアセスメント・学び方を学ぶ時間」実践等) 等々

◎「学びのアセスメント・学び方を学ぶ時間」に関連した、パターンランゲージワークショップを絡めた実践について

【8月:夏休み】本グループの計画にあげていた、アクティブラーニングパターンランゲージ(ALP)のワークショップについて検討する中で、まずはパターンランゲージがどのようなものを体験するために、8月4日に有志で集まって、オンラインでパターンランゲージ(コラボレーションパターン)についてのミニワークショップを行った。

【11月】その後の投稿で、参加者の1人が京都堀川高校・三重四日市高校への視察について言及する。

別の先生が、オンラインで学んだ堀川高校の事例[学びのアセスメント]についての報告、ご自身の学校で、やってみたいという意味が述べられたりした。

この後、学びのアセスメントに関して、類似の取り組みである慶応 SFC の新入生に対して行っているラーニングパターンについての大規模ワークショップについての紹介がなされパターンランゲージへの参加者の興味が再び高まった。

【12月】そこで、12/26にクリエイティブシフトの講師をお呼びして ALP ランゲージを行うことを計画し実施した。

- ◆ワークショップを体験し、その後、ラーニングパターンを用いて、可児高・郡上高+先行実施した大垣北高の計3校で、少しずつ味つけの異なる生徒の手による学びについての学びの活動が生まれた。これがこの一連の実践の成果である。

【自ら学ぶ教職員事業の予算によって実現した 12/26 の ALP ワークショップの参加者感想】

- ◆自分もっているスキルが可視化できるのがよい。特に本能的にやっていることや自然に発生したものの価値は自分では気づかないことが多いので、発見がたくさんある。
- ◆ALP を用いることで自身の指導だけではなく、他の教員と同じ視点で教育方法を振り返ることができることが分かり職場でも共有していきたいと思います。
- ◆「上手にできている先生」のできていることからのボトムアップで作られているというのに感動しました。
- ◆楽しそうなツールであること、可能性がたくさんあることがよく分かりました。バックボーンが分かり、より使いそうな気がしてきました。

【Teams(みんなの☆職員室)の活動の様子】

【みんなの☆職員室】

- 【みん職：自主研修①】パターンランゲージを体験しよう**
概要：パターンランゲージコラボレーションパターンを体験する。(後して、次につながる新たな疑問やワークを手に入れる)
形式：オンラインワークショップ
時間：1時間程度
日時：7月26日(水) 15:00-16:00
- 郡上高校版「学びのアセスメント」**
短川高校、大塚北高校、可児高校に続き、本校でも「学びのアセスメント」を1年普通科LHRの時間にやってみることになりました。本番が2月9日(木)とあまり時間はないですが、先達有志の生徒を募り、ミーティングを行いました。
実は募集の期日の時点でFormsの回答者は0人...だったわけですが、SHR後にまわって声をかけてみると意外とやる気の生徒がちらほら。2月11日の午後に実施予定です(まだ参加者が少ないです)。
- ExCEED (イクシード) 勉強会**
堀川高「学びのアセスメント」・大塚北高「学び方を学ぶ時間」に続いて、本校でもいよいよ「生徒主体で学び方を探究する時間」を行うことになりました！
授業本番は年明け最初の1月13日(金) LHRで、生徒がファシリテーターとなって進行します (担任の先生を教室から送り出して、授業ジャックをせよ!)と声掛けしております。その日に向けて、有志の生徒を募集し、勉強会を3回ほど実施する予定です。
- 2022歴史パーティー日誌@多治見工業**
今年もやります「たじみ歴史パーティー」プロジェクト。
基本的には昨年の踏襲ですが、生徒とつくる学びの場は変わるのか変わらないのか。備忘を兼ねつつ、成功したことと失敗したこと...いろいろ記録させていただきます。
- 「現代の国語」授業改善計画**
昨年末の「先生の授業&取り組み」先生のICT授業見学(昨日の「実況」も楽しくなりました。なるほどこうしたプロセスでの完成度のワークシートが生まれるんですね!)・ALPワークショップあたりから火が点きまして、いよいよ年度末(しかも最後の単元)になってしまっけどうまく授業改善に動き始めました。うまくいけばあまり自信がなく、車両が足りない中での見切り発車ですが、「まあ走りながら形にすればいいか。せめて来年のための種にできれば」という感じの実験的活動です。

【ALP ワークショップ(於:岐阜市メディアコスモス)の当日の様子】



今後の課題

【今後の展望と研究結果の還元】

今後は、新たな参加者を迎え入れ、新たなテーマを複数設定しそれぞれのテーマに基づき教育実践を開発していく予定である。

当面は、令和4年度の共同研究の参加者に対して参加を呼び掛ける勧誘を行っており、数名が既にみんなの☆職員室の Teams へ参加予定である。

今後の活動としては、これまで同様に、オンラインで日々の出来事実践を交流する中から様々な活動が生まれてくると予想される。さらに、参加者が増えることにより、当グループで生まれる新たな実践が、より広く多くの学校で行われることにより、本県の教育に還元されていくことが見込まれる。

【今後の課題】

- ◆課題達成に向けて、常にそれぞれの参加者が、お互い高め合う意識とオンライン上でつながって行く必要がある。
- ◆当グループのコミュニティの自体が、研究結果と言える部分が大きく、このオンライン上の教員のコミュニティの強みを他のグループに転移することが困難である。
- ◆今年度着手したが、まだ研究途上の課題もあり、活動途中で、新たな課題も続々と生み出されているため、計画を常に上回る活動を行うことになり、資金等が必要な活動が生じるときに対応しづらい。